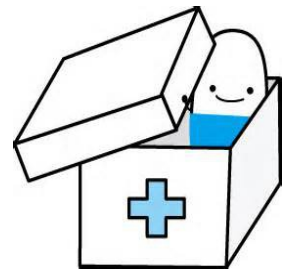


# もうひとつの おきぐすり



うわ！パンヘッドだ。ハンドシフトか。ヨンパチかな。

気合い入ってんな。

自分の車の前で信号待ちをしているそいつは、気持ちの良い音をさせながら「儀式」に入った。

ドットコ ドットコ ドットコ カリカリカリカリカリ

左足でクラッチを踏みつける、左手を後ろに回しシフトレバーを握りローに入れる。カリカリカリ ガツン！車体全体を

揺らしギアがかみ合ったことを乗り手に伝える。信号が青に変わり右手のアクセルスロットを少し回す。同時に

左足のクラッチを少しずつ上げギアをつなぐ。

バタバタバタ カシュカシュカシュ ガツン パツパツパツ いろんな機械音をまき散らしながらそれは走り去って行った。

今のは、古いハーレーの話。

こんなやつ



このバイクは1948年～65年の製造でエンジンの形からパンヘッドと呼ばれてるんだ。パンは鍋という意味。

特徴はギアチェンジがハンドシフトということ。今のバイクは左手でクラッチを握り、左足でギアを操作する。

このバイクは、左足のフットクラッチと左手で操作する、ハンドシフトによりギアチェンジを行う。



こんな感じ

これを「儀式」と呼んでいる。

(私が(笑))

こんな光景を見てしまうと、つい思い出してしまう。ハーレーを乗っていたころを。なんて、センチメンタルにはならないけど

大変だったことを思い出す。私の大変談義は、まずエンジンをかけようとするセルが回らない、走ると吹けない。この

2つは毎回のトラブルだった。そして何を隠そう私はメカ音痴。

でもね、毎回毎回、対処していると少しずつ出来るようになるんだな、これが。

バッテリーの充電、プラグのブラッシングや交換、トラブルの対処が上手くなってくると楽しく、愛おしくなってくる。

ここでいつも思っていたことがある。ハーレーのエンジンやその他のパーツは人の体と似ている、と。

エンジンはもちろん心臓。アイドルリングが安定しなかった私は原因を追究せずに、アイドルスクリューをつけた。

これは、手元で簡単にエンジンの回転数を調整出来るもの。

バッテリーは、人間でいうと「気」みたいなもの。これが毎回上がってしまうのも原因を追究せずに、充電を繰り返した。

その結果私のハーレーは動かなくなってしまった。

人もこれと同じようなことをしてしまっている。

高血圧、高くなった原因を探らずに降圧剤で下げてしまっている。脂質異常、コレステロールや中性脂肪が異常値になった

ことの原因を見つけずに薬で正常値にしてしまう。全て対処療法で根本治療では無い。私のハーレーと一緒に。

どんな病気や症状でも必ずそれを起こさせる原因があるはず。それを診ずに今を続けていると、いつか壊れる日が来る。

立ち止まって、自分を診直そう。きっと本当の健康になれるはず。

なんか、又バイクに乗りたくなってしまった。その前に自分を診直さなくちゃ。

JowBコンシェルジュ風見でした。

